



2004-05年度  
国際ロータリー・テーマ

**THE ROTARY CLUB OF UCHITA**  
**打田ロータリークラブ**  
Dist:2640.RI 1988.3.5創立

- 事務局 〒649-6414  
和歌山県那賀郡打田町打田1113-2 井畑寛子方  
TEL 0736-77-3777
- 例会場 JA紀の里ふるさとセンター  
TEL・FAX 0736-77-3777
- 例会日 毎週木曜日 PM7:00~PM8:00
- 会長 井尻和男
- 幹事 阪田英司
- 会報委員長 笹井紀美江

史跡 紀伊国分寺跡

**本日の例会** 会員お祝い  
(9月9日) 外部卓話

**次週の例会**  
(9月16日) 内部卓話

## 第783回（本年度9回）例会記録

2004年9月2日

①開会の点鐘 会長 井尻和男君

②ロータリーソング

君が代 四つのテスト

③出席報告 出席委員長 繁田恭明君

	会員数	免除	出席	欠席	MU	出席率
本日	13	0	12	1	0	92.31%

④会長の時間 会長 井尻和男君

ロータリアンの義務の一つに例会出席があります。基本的に各クラブ共、週一回の例会が開催されメンバーはそれに出席する事になります。やむ得ない場合はその例会の前後14日以内に他のロータリークラブに出席してメイクアップする事が出来るのは、皆様御承知の事です。その週一回の例会では食事を共にして話し合いながらお互いの親睦や友情を深めるのもロータリー活動の大きな目的であります。打田RCの例会は通常、開会点鐘そして食事、会長の時間があって幹事報告、そして委員会報告等があって閉会という順序です。

お互いの会話がないうまま終える事も多々あります。会員同士話し合える時間ももっとあっていいのではないか。これは少人数のクラブだからこそ容易に出来る事だと思います。

卓話やスピーチと言った改たまったものではなく社会情勢や趣味、文化や歴史についてその他何でもよい雑談が出来る場を多くもちたいと考えますが如何でしょうか？その一例として移動例会を何回か予定しています。今月の最終例会もそうです。是非全員の参加をお願い致します。また、移動例会以外でも例会時間に余裕があると思われる時は、この雑談スタイルの例会を取り入れて楽しい例会にしたいと考えています。

⑤幹事報告 幹事 阪田英司君

★2004年R I 規定審議会についての情報提供の案内が来ています。

★世界社会奉仕(WCS)「水プロジェクト」の協力依頼が来ています。

★国際ロータリー2640地区・ホームページ掲載情報の充実に伴う協力依頼が来ています。

★例会変更のお知らせ

◎橋本紀ノ川RC

日 時…9月21日(火) 19:00～

場 所…ごゆっくり

⑥委員長会議報告

クラブ情報規定委員長会議 柏井健作君

平成16年8月28日 和歌山JA会館

2004規定審議会報告

今回の主な変更について出席された中村バスタガバナーからと同じくSAAとして出席された中島ガバナーから詳しく説明があった。今回2640地区から3つの提案がされすべて承認されたとのことです。

1. クラブの合併について
2. 出席率の算出の変更
3. 会長エレクトのペッツ、地区協議会への出席の義務付け
4. 人頭分担金の変更
5. クラブに最低10人分の人頭分担金を支払うよう要請する件

その他

⑦ロータリーの友9月号記事について

柏井健作君

⑧委員長会議報告

米山奨学委員長会議 繁田恭明君

8月21日(土)、泉大津テクスピア大阪に出席して来ました。まず始めに米山記念奨学会理事の大丸さんから寄附金について話してくれました。その一部を報告します。

2003年度の寄附金は全国で15億200万円、地区当たり5,998万円、一人当たり20,633円でいずれも前年度より6%減です。1996年には20億8200万円の寄附金が有りました。減額の原因は何と言っても日本経済の不況と会員減少です。当地区も今迄は全国で寄附額トップだったのが現在

は3番目です。

減額の穴埋めに特別積立金を(約42億円)取り崩しています。2005年度からは奨学生も奨学金も減らされています。

奨学金種類		奨学金額 (月額)	2004学年度 採用実績	2005学年度 採用数
米山奨学金	学部課程(YU)	12→10万円	126人	741人
	修士課程(YM)	15→14万円	359人	
	博士課程(YD)	15→14万円	446人	
クラブ米山奨学金: 博士課程最終学年 在籍者の延長制度		15→14万円 (世話クラブ 半額負担)	53人	59人
特別米山奨学金	SY-A: 海外学友会選 考・推薦	18万円 (2004学年度 減額済み)	5人	
	SY-S: 元米山奨学生 の再留学	18万円 (2004学年度 減額済み)	7人	
	SY-1: 農業・地域指 導者研修支援	12→10万円	6人	
奨学生人数(計)			1,002人	800人

※学年度は、4月1日～3月31日の期間です。

奨学生については、国別人数は中国16人(男6,女10)、台湾6人(女6)、韓国5人(女5)、ベトナム2人(男2)、マレーシア1人(男1)、バングラディッシュ1人(男1)、インドネシア1人(女1)、ネパール1人(男1)、ロシア連邦1人(女1)で計34人(男11,女23)となっています。

※今年度までは中国の方が80%程度だったが2005年度は50%程度に減らされました。

※奨学生の受け入れに協力の依頼も有りました。その条件として

- \*日本語が話せる。
- \*日本の文化に理解が出来る。
- \*ボランティア精神の有る方。

※奨学生に卓話も依頼出来ます。

⑨閉会の点鐘 会長 井尻和男君